

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3044	(H.24)No.	3044
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中山間地域等直接支払事業(交付金含む)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 12 年度 ~ 平成 26 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	301512
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農業振興対策費
項	農業費	(小事業名)
目	農業振興費	中山間地域等直接支払事業(交付金含む)

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>中山間地域等は、農地の傾斜や高齢化など、農業生産条件が厳しく、耕作放棄地の増加が懸念されるため、平地との生産費の格差相当を農業者へ直接支払うことにより、農業生産の維持と多面的な機能の確保を図る。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>耕作放棄地の発生を防止し、災害の防止や安らぎの場の提供など、農地の多面的機能を保全する。</p>
--	--

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	交付対象面積 86.5ha 中山間地域等直接支払事業 交付金 15,778千円	交付対象面積 84.23ha 中山間地域等直接支払事業 交付金 16,133千円	補助金・交付金		
			その他 ( )		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			交付対象面積 84.23ha 中山間地域等直接支払事業交付金 16,133千円	交付対象面積 84.23ha 中山間地域等直接支払事業交付金 16,133千円	交付対象面積 84.23ha 中山間地域等直接支払事業交付金 16,133千円
<b>直接事業費</b>	<b>15,876千円</b>	<b>16,232千円</b>	<b>16,232千円</b>	<b>16,232千円</b>	<b>16,232千円</b>
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	11,089	11,324	11,324	11,324	11,324
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 4,787	4,908	4,908	4,908	4,908
人工数					
職員	0.38人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 2,791千円</b>	<b>1,769千円</b>	<b>1,769千円</b>	<b>1,769千円</b>	<b>1,769千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 18,667千円</b>	<b>18,001千円</b>	<b>18,001千円</b>	<b>18,001千円</b>	<b>18,001千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	協定地区数	-	-	-	-	-
	実績		21	21	17	17	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
当事業の活用により、中山間地域における農地、農業用施設の適正な維持管理を実施することができた。	中山間地域の農地、農業用施設の適正な維持管理を継続して実施するために、当事業の継続が必要である。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
中山間地域の農業者の高齢化が進むと、農地、農業用施設の維持管理が困難になるため、当事業を活用した適性管理が必要である。	農業後継者及び担い手の不足、高齢化の進行により、中山間地域における農地・農業用施設を適正に維持管理していくことは困難となってきたため、当事業を継続して実施することにより、適正に管理する必要がある。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	国津地区
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 中山間地域の農地、農業用施設の適正な維持管理を継続して実施するために、当事業の継続が必要である。

### 特記事項

--